

ポケットガイド

種卵の卵殻質

異常卵の評価





種卵の卵殻質：巢外卵

原因	解決法
不十分なネストスペース	個別ネストでは4羽/穴、 集合ネストでは40羽/m (12羽/ft) にする
トリがネストを使用しない	止まり木を28日齢で設置する ネスト付近に、給餌や給水ライン などの障害物がないようにする ネストにトリが止まるために適した 横木を設置する 60 lux (6 fc) 以上の均一な 光線分布 鶏舎内を頻繁に (6~12回/日) 歩いて巢外卵を拾う；ピーク産卵 後に頻度を減らすことができる
トリが帯電したネストに警戒 している	すべての電気設備を適切に 維持する
攻撃的行動；不適切な収容密度 によりネストスペースに対して トリが喧嘩する	密度は3.5~5.5羽/m ² にすべき である (2.0~3.1 ft ² /羽)
トリが選んで採食とネストに いけるようにしなければならない	給餌時間は点灯30分後または 5-6時間後にするべきである 15 cm/羽 (6 in/羽)の適切な 給餌スペースを確保する

- 細菌汚染リスクがとて高い
- 孵化率低下のリスクがある

種卵の卵殻質：血液が付着した卵殻



種卵の卵殻質：血液が付着した卵殻

原因	解決法
性成熟が未熟または過剰刺激により、トリが脱肛または総排泄口へのダメージの兆候を示している	推奨される光線／給餌プログラムを使用する
攻撃的行動	推奨される収容密度にする 適切な給餌スペースを確保する 配雄率 - 多すぎるオスはオーバーメーティングおよびメスへのダメージを引き起こす
初卵が早すぎる	推奨される光線／給餌プログラムを使用する

- 汚染リスクは低い
- 孵化へのリスクは低い

種卵の卵殻質：小卵



種卵の卵殻質：小卵

原因	解決法
開放鶏舎へのトリの移動が早すぎる	移動を遅らせるまたはブラックアウト／ブラウンアウトカーテンを使用する 18週齢より前にトリを移動するべきではない
光線が早すぎる	移動を遅らせる 性成熟するまで光線刺激を遅らせる
鶏群の斉一性が良くない	グレーディングを実施しCVを10%未満にする
不均一な配餌による不均一な卵のサイズ	鶏舎全体に均一に配餌し、十分な給餌スペースを確保する

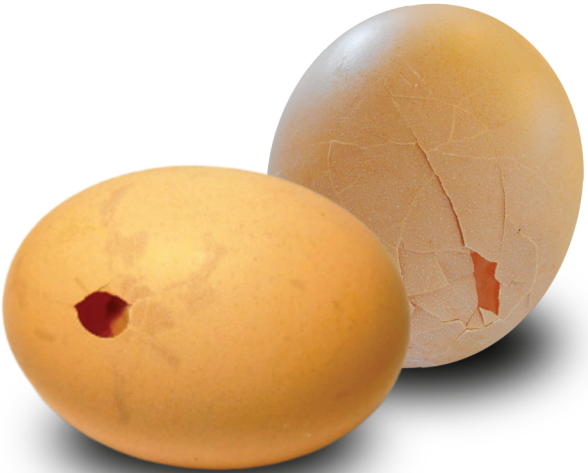
- 孵化が減少するリスクは低い
- ヒナが小さくなり、ブロイラーの成績が悪化する



種卵の卵殻質：糞便汚染

原因	解決法
ネストが清潔ではない	ネストの敷材を定期的に変更する、 または継ぎ足す - 少なくとも10日毎 ネストマットは定期的に清潔にするべき - 通常6週間毎
不十分な集卵回数	最低4回/日は集卵する
自動集卵システムが糞便に汚染されている	集卵ベルトを定期的に清掃または消毒する - 少なくとも毎週
飼料が薬物または毒素で汚染されている	汚染について飼料サンプルをモニターする(例：サルファ剤およびマイコトキシン)
水のナトリウムレベルが適切ではない	塩化物レベルが50-300ppmに維持されるように水質をモニターする
飼料中の食物繊維含有量が高い	飼料中の繊維量とタイプをモニターする

- 汚染のリスクがある
- 孵化への影響がある



種卵の卵殻質：ひび卵または破卵

原因	解決法
自動集卵／パッキングシステムがひびを引き起こしている	自動集卵／パッキングシステムで円滑に移動しない場所をチェックする
ネストに対するトリの羽数が多すぎる	個別ネストでは4羽/穴、集合ネストでは40羽/m (12羽/ft)にする
オートネストを十分に稼働させていない	ネスト内に卵が溜まらないように最低3回/日、オートネストを稼働させる
集卵後の手荒な取り扱い	農場での卵の移動を丁寧に行う

- 汚染のリスクが高い
- 孵化する可能性は低い

種卵の卵殻質：異常な卵形またはしわがある卵



種卵の卵殻質：異常な卵形またはしわがある卵

原因	解決法
病気の影響による可能性	ニューカッスル病(ND)、伝染性気管支炎(IB)および産卵低下症候群(EDS)のような病気をチェックする
その地域に合っていないワクチンプログラム	その地域に適したワクチンプログラムを実施する
良好なバイオセキュリティが実施されていない	良好なバイオセキュリティ(踏み込み消毒、清潔または使い捨てつなぎの着用、老鶏群から若齢群に行かない、手洗い、シャワーを浴びるなど)を実施するように従業員を訓練する。

- 孵化する可能性は低い

種卵の卵殻質：卵殻が薄い卵または卵殻が無い卵



種卵の卵殻質：卵殻が薄い卵または卵殻が無い卵

原因	解決法
飼料栄養レベルが不適切	飼料サンプルを採取し、カルシウム、リンおよびビタミンDレベルを分析する
病気の可能性	マイコプラズマ、ND、AI(鳥インフルエンザ)、EDSおよびIBのような病気をチェックする
卵のサイズが大きい	適切な光線／給餌プログラムを確実に行う

- 孵化する可能性は低い



種卵の卵殻質：二黄卵

原因	解決法
成鶏舎の光線プログラムが不適切	推奨される光線／給餌プログラムを実施する
光線刺激が早すぎる	移動を遅らせる トリが性成熟するまで光線刺激を遅らせる
ピーク産卵までの給餌量が多すぎる	推奨される給餌プログラムに従う

- 孵化する可能性は低い

種卵の卵殻質：色が薄いまたは白い卵



種卵の卵殻質：色が薄いまたは白い卵

原因	解決法
病気の影響による可能性	IB、ND、マイコプラズマ、EDS、AIおよびトリニューモウイルス (APV)の兆候を示す鶏群をチェックし、生産期を通して抗体価をモニターする 推奨されるワクチンプログラムに従う
過度に鶏群を騒がせる	推奨される配雄率を維持する 推奨される収容密度を維持する 推奨される給餌／給水スペースを確保する
飼料汚染 (脱フッ素リン酸、 ナイカルバジン)	飼料サンプルをモニターする 飼料工場での交差汚染を防ぐ ビタミンCの追加

- 色が薄い卵は孵化へのリスクは低い
- 白い卵は孵化へのリスクがある



種卵の卵殻質：カルシウム沈着

原因	解決法
飼料中のカルシウムレベルが高すぎる	飼料中のカルシウムレベルをチェックし、確実に推奨値に従う
病気による影響の可能性	IBの兆候を示す鶏群をチェックし、生産期を通して抗体価をモニターする
卵殻腺の異常	原因不明

- カルシウム沈着の程度によるが孵化へのリスクは低い



種卵の卵殻質： 胴体に帯のある卵およびスラブサイド卵

原因	解決法
老鶏群	経済的に可能な限り老鶏由来の卵を使用しない
過度に鶏群を騒がせる	成鶏舎周辺での活動や騒音を最小限にする
不適切な光線プログラムの使用	産卵開始までに急に日長時間を延ばすべきではない
不適切な収容密度	常に推奨される収容密度にする (特に老鶏になるほど) 過密は過度のストレスや攻撃性を引き起こす可能性がある
病気による影響の可能性	推奨されるワクチンプログラムを使用し、IBについて鶏群をモニターする

- 孵化する可能性は低い



種卵の卵殻質：まだらの卵殻

原因	解決法
卵殻と卵殻膜間がわずかに離れている	原因不明

- 孵化への影響はない

更に詳細な情報は、チャンキー種鶏管理ハンドブックおよびチャンキー種鶏栄養成分を参考にしてください。

株式会社 日本チャンキー

〒700-0984

岡山市北区桑田町1番30号 岡山県農業共済会館5F

Tel : 086-803-3660 (代)

Fax : 086-803-3665

www.chunky.co.jp/



記載された情報をより正確に、より適切にするように努めています。
しかしながら、Aviagen社はトリの飼養管理のための情報の使用の結果に対して責任を負うものではありません。

更に詳しい情報については、日本チャンキーの担当者にお尋ねください。

Newbridge
Midlothian, EH28 8SZ
Scotland, UK

t. +44 (0) 131 333 1056
f. +44 (0) 131 333 3296
infoworldwide@aviagen.com

Cummings Research Park
5015 Bradford Drive
Huntsville, Alabama 35805, USA

t. +1 256 890 3800
f. +1 256 890 3919
info@aviagen.com

www.aviagen.com